

「学・問」のすすめ



愛知産業大学長
小川 英明 氏

教育随想



平成23年7月1日

7月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
愛知産業大学長 小川 英明氏	
この人に聞く	2
光ヶ丘女子高等学校吹奏楽部顧問 日野謙太郎氏	
羅針盤	2
国語科指導員	清松 治子
ふれあい	3
大門小	小黒 雅美
特集	4
小学校英語活動 「英語が話せるおかざきっ子」 育成に向けた取組	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
兎狩り	
この本を	8

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震の衝撃への身震いが収まらないまま学生・保護者の安否・被災状況の確認に奔走しているなか、本学では四月一日に入学式を挙行了しました。

大学進学を果たせずに亡くなった多くの若者に黙祷を捧げた後の式辞のなかで、私は入学生に対して三つの「学び」を勧めました。「勉強」「学習」「学問」という学びです。

小学校・中学校・高校までの「勉強」から、大学生に相応しい「学習」を行い、さらに社会人となるべく「学問」という学びを実践することを、これからの日本を支えていく入学生に強く訴えました。

言うまでもなく、「学問」という言葉は、慶応義塾大学を創設した福沢諭吉が、明治五年に、学問が人生

に与える大きな影響を説いた名著で用いて以来、頻繁に使われてきた言葉で、昨今ではいささか古臭く、微臭くなっているかもしれません。

学問とはすなわち、学んで、問うことです。問うことは単なる「質問」以上に、学んだ知識を社会に向けて「問う」、提案する「こと」に本意があると言えます。言い換えれば、勉強や学習が知識の獲得という内在化とすれば、学問は知識の活用という外在化とも、また「知っていること（知識）」と「用いること（実践）」との連携とも言えます。

日本のこれまでの優れた教育は、

生徒や学生に多くの知識を的確に教授し、獲得させることに意が注がれてきました。しかし、未曾有の大震災や世界的経済不況、また信じられないほどのスピードで高度情報化や少子高齢化が進行する現在、社会では、実践知となるような教育の重要性が高まっています。

すべての教育の場で、社会の改善に些かでも貢献できるような、対社会的アクティブ・ラーニングを、変化する社会から学び、社会に還元できる学びを、「学・問」として勧めたいと考えています。

(おがわ ひであき)



この人に聞く



一人一人を見ます

光ヶ丘女子高等学校吹奏楽部顧問

日野謙太郎 氏

「吹奏楽は、指揮者である自分が評価されるのだと考えています。だから仕事が終わったあと、個人的にレッスンに行くなどもしています。でも、なかなか思いどおりにはいかないですね。いつも勉強です。」

大学を卒業してすぐに光ヶ丘女子高等学校に赴任して十八年。現在は国際教養科の科長を務めながら、百二十人の吹奏楽部員を指導している。全国大会に何度も出場し、輝かしい成果を収めている。

「自信があるいい演奏のときは、生徒の顔が上がります。指揮をしながら生徒と目で会話していっしょに音を創っていく。指揮者はその輪の中にいられるので幸せです。そのときの心地よい感覚が忘れられなくて、

また頑張ることができるようです。うまくいかなかったときは激しく落ち込みますけどね。」

と、穏やかな笑顔で語る。

「本番でいい演奏をするためには、日常がしっかりしていないといけないと言っています。本番が特別になると気負ってしまつてミスにつながります。技術的にうまくなることに加えて、人間的に成長することが大切。細かいことに気が利くようになると、音程が悪いときに、それを見逃さない姿勢につながり、演奏もよくなりますね。音にすべてが表れます。」

十年ほど前、コンクールでなかなか結果が出ない時期があり、悩んだ末にそう考えるようになった。練習方法も自分で、個人練習に多くの時間を割く。

「一人一人がしっかり吹けないと、満足のいく合奏にはなりません。だから、一人一人を見るようにしています。一人ずつチェック表を渡して個人練習をし、順番に呼んでレッスンをします。」

多くの部員を抱えるなかで、途方



もない作業だけれど、遠回りのように実はこれがいちばん近道なのだということに気付いたのだそうだ。

「五十人の前で話すと言葉は五十分の一になつてしまふ。けれど、一対一で話すのと一でとつてくれるのです。また、以前は、生徒と友だちのような関係だと言われることがありました。真剣に叱ることができていかなかったのかもしれない。今はいい緊張感のなかで、生徒との適度な距離を作っています。これも一人一人を把握できているからだと思います。」

コンクールで結果が出て、周りが認めてくれるようになると、様々な舞台で演奏する機会が増える。

「吹奏楽は古今東西いろいろなジャンルの曲に取り組めるのが魅力です。このおもしろさや芸術的価値を多くの人に広めていきたいですね。」と、夢を語ってくれた。

「光ヶ丘らしい演奏を心がけています。こつこつ積み重ねてきて、音楽に対してまじめに取り組んでいることが伝わる演奏ができればうれしいですね。生徒は本番直前の舞台袖でも練習しています。自分が振つて、生徒は吹きまね。こんなことしてるのは本校だけだと思います。」

光ヶ丘女子高校吹奏楽部独自の文化が確立されている。今年も全国の舞台で光ヶ丘サウンドが響くだろう。

氏名 日野 謙太郎
生年月日 昭和四十五年二月二十日
住所 岡崎市竜美新町



磨き合い、高め合う授業を

目指して

国語科指導員 清松 治子

「盲導犬ができればならない」とは何でしょう」というA先生の問いかけに、「人間の言うことに従うことです」「人を安全に導くことです」と、これまでに読み取ったことを発表する子供たち。

小学校三年生『もうどう犬の訓練』の授業である。「Bさんに付け足しで」「C君と同じで」と、友達の名前を入れてはいるが、発言がかわつていく様子はない。ここでA先生はDさんを指名した。「盲導犬にふさわしい心構えです」との発言に、子供たちから「えっ」という声が上がった。この部分に着目していた子供はほとんどいなかったのだ。そこで、A先生は、「どうだろう。もう一度ここを読んで考えてみよう」と文章に戻らせた。A先生は、



明日も来るよ

大門小 小黒 雅美

始業式、母親と一緒に体育館の後ろに隠れるようにしていたA男。

「よろしく。」

と声をかけると、逃げていってしまつた。その後、一日おきのペースで登校していたA男は十日目から来なくなつた。

「五年生のときの先生には慣れていて、私がついていかなくても登校できる日があつたんですけれど、今年はまだ先生に慣れないようで学校に行けないのです。」

A男の母親が、電話で打ち明けてくださった。その日から、私とA男との関係づくりが始まつた。

一日目。家に行くと、母親の後ろに隠れて警戒しているのがよく分かる。ゲームを見せてもらつたり母親と話をしたりして一時間を過ごした。

二日目。母親と話をしていると、

「練習してできるようになつたよ。」
 と言ってヨーヨーの技を披露してくれた。A男から話しかけてくれたことがうれしかった。

A男の休みが続くと、クラスの子からこんな声が聞こえてきた。

「五年生の最後のころはちゃんと学校に来ていたよ。なんで来ないの。」

私は、子供たちに事実を伝えることにした。A男は、先生に慣れなく

て来ることができないのだということ、夜にA男の家に行つて慣れるように遊んでいることを話した。それ

から毎日子供たちは、A男へ手紙を書いてくれるようになった。

「小黒先生の授業はおもしろいよ。」
 「今日ね、理科の実験があつたよ。」

なんとか私とA男の関係がよくなるようにと、気を遣つてくれてることがよく分かる手紙ばかりだつた。

三日目。家に行くと母親と弟は出かけており、A男と二人きりになつた。最初は嫌があつたA男だが、

ポケモンの絵と一緒に描いたり、昨年の担任の先生の話を話したりした。「明日も来るよ」と言うと、A男

はにこっと笑つた。少しだけ、心の距離が縮んだ気がした。

四日目。A男から得意な折り紙の折り方を教えてもらつた。この日は、

「行くよ」と電話をすると、家の外まで迎えに出ていて、帰りは寒い中を見送つてくれた。帰りの車の中で、

明日は何をしようかなと自分の方が訪問を楽しんでいることに気付いた。

五日目。A男と話がしたい、遊びたいと書いてある子供たちの日記を持っていつて、A男に見せた。

「あとで、ゆっくり読むよ。」

と言ってすぐにしまつたが、顔は笑顔でいっぱいだった。

六日目。朝、校門で子供たちを出迎えていると、なんと、A男が照れくさそうに歩いてくるではないか。

「先生、A男君来たよ。」
 A男の机の周りにはたくさんの子

供たちが集まつてくる。この子供たちがそばにいれば、A男はきつと大丈夫だと確信し、涙が出てきた。

だが、私とA男との関係づくりはまだ始まつたばかりだ。



Dさんを指名することで子供たちに疑問を抱かせ、文章を基にしたかわり合いをもたせようと考えたのである。A先生が座席表を見ながら指名していく。「できんといかんこと

だから心構えはおかしいよ。」
 「でも、『心構えも』だよ。『も』だから、これもそうだよということじゃないの。」
 「付け足して、次の段落に『こ

うした訓練』って書いてあるから、心構えも訓練だと思ふ」……ある子が、「心構えを『身につける』と書いてあります。『身につける』はできるよになると同じだと思ふ」と言つた。子供たちから、「ああ」

「なるほどねえ」の声が聞こえた。

A先生は、意見を発表するだけだった子供たちに、文章を基にしてかわり合うことを体験させたのだ。

磨き合い、高め合う授業というのは、子供同士がかかわり合うことで、

考えを広げたり深めたりできる授業である。さらに、国語では「文章を基にかかわり合う」ことが求められる。私たちは、磨き合い、高め合う

国語の授業を目指し、「文章を基にかかわり合う」場を意図的に仕組むようにしたい。それには、A先生

のような深い子供理解と確かな教材研究が不可欠なのである。



▲DVD「OK English」に合わせ、ジェスチャーを付けて英語の練習をする児童（井田小）

本年度から全面実施された新学習指導要領で、小学校五・六年生の外国語活動が必修になった。岡崎市は、文部科学省より地域の特色を生かして、独自の教育課程の編成ができる「教育課程特例校」の指定を受け、昨年度から小学校の教育課程に「英語活動」を新設した。これは、小学校から中学校までの九年間、英語力の基礎を培い、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする資質や態度を育てる、全国に先駆けた取組である。

小学校では、岡崎市「英語が話せるおかざきっ子研究委員会」が編集したDVD（Okazaki Kids English）を、毎日八分間視聴している。DVDは、英語の歌、ネイティブスピーカーのあとに単語や文を発音する活動、動作をしながら友達と会話する活動など、各学年の発達段階を考慮して編集されている。各学校では、DVDを視聴する時間を「英語タイム」「Eタイム」などと名付け、教育課程に位置付けている。

また、ALT（外国語指導助手）・ST（英語支援員）と学級担任が協同して行う授業も活発に行われている。ネイティブスピーカーの発音を聴きながら、歌ったりゲームをしたりして英語に親しむこの時間は、子供たちにとって楽しい時間の一つである。

本宿小学校では、四十五分間、担任もALTやSTとともに英語で授業を進めることをめざしている。秦梨小学校では、全校集会で英語の歌や文の暗唱を発表するなど、各学校でも英語を用いた取組が工夫されている。

岡崎市英語スピーチフェスティバルに、小学校が参加するようになって今年で四年目。スピーチの部、スキットの部、ともに、年々表現力が豊かになり、聴衆を楽しませている。

こうした全市的な取組が、英語を意欲的に学び、英語でコミュニケーションを図ろうとする子供たちを育んでいく。

岡崎市「英語が話せるおかざきっ子研究委員会」作成DVD「Okazaki Kids English 4」



23年度1学期・各学年のレッスントイトル(抜粋)

学年	タイトル
1年	1 Hello. What's your name ?
	2 How are you ?
	3 Numbers
	4 My name is ~.
6年	1 Are you Mr. Brown ?
	2 Do you come to school everyday ?
	3 Sumire likes Japan very much.

本年度は、学年ごとに視聴できるように、DVDを再編集しました。担任の先生が、児童と一緒に発音したり、ジェスチャーをしたり、歌ったりして、英語を学ぶモデルになってほしいと思います。英語の音に自然に慣れさせることで、児童たちが英語に親しみ、英語を聴く耳が育つと思います。

(DVD制作担当者)

岡崎市英語活動プラン(案)

～小中学校一貫した9年間の英語活動・英語教育～

小学1年	学年ごとの OK English DVD 毎日8分 (週1こま)	学期に1回程度の ALT・STとの授業
小学2年		月に1回程度の ALT・STとの授業
小学3年		
小学4年		月に2回程度の ALT・STとの授業
小学5年		
小学6年		
中学1年	ALTの授業及び英語テキスト 「Our city OKAZAKI」の活用	
中学2年		
中学3年		

英語が話せるおかざきっ子

聞く力を備え、コミュニケーションを図ることができ、英語を意欲的に学び続けようとする児童・生徒を育成する。



▲担任とともに発音の練習をする子供たち(六ツ美南部小)

DVDの視聴

月曜日になると、英語タイムの内容が新しくなるので楽しみです。最初はついていけないけれど、金曜日にはすらすらと言えるようになります。言えなかった単語が言えるようになるので楽しいです。
(六ツ美南部小 五年児童)

市英語スピーチフェスティバル

たくさんの方の前で英語でスピーチするのは、緊張しました。でもたくさん練習したことで、はきはき、楽しく話すことができました。これからも、たくさん英語を学んでまた参加したいです。
(常磐小 五年児童)



▲英語スピーチフェスティバルで話す宮崎小の児童

英語活動の工夫



▲「英語ノート」のデジタルコンテンツを使った授業(本宿小)

英語活動では、担任も児童といっしょになって楽しむようにしています。
英語ノートのデジタル版を使うと、画像や音が出てくるので、分かりやすいと子供たちにも好評です。
(小豆坂小 教師)



▲市学習指導案集(英語)を活用した授業(細川小)



▲「英語ノート」の例文を参考に自己紹介(城南小)



▲全校集会で英語の歌「Good-bye」の発表(秦梨小)



▲担任とALTによる英語の授業(根石小)



● 教育最新情報

○平成二十三年度全国学力・

学習状況調査

四月十九日に実施予定だった全国学力・学習状況調査は、今年三月に延期または中止されると文科省から通知があったが、現在の状況が考慮され、行わないと決定された。

希望する学校には国が作成した問題冊子等が配布される。九月二十六日に配布され、十月上旬を目処にホームページで公開される予定である。

○岡崎市小学校通知表

新学習指導要領の完全実施に伴い、小学校の通知表の改正を授業改善委員会を中心にを行った。

主な改正点は以下の二点である。一点目は、「各教科の学習の記録」における各教科

の観点の内容を新学習指導要領に合わせたことである。二

点目は、英語活動の推進における「英語活動の記録」についても記述する場所を明確にしたことである。

各学校で新学習指導要領の趣旨にのっとり、適切に評価を行い、通知表で保護者に伝えていってほしい。

◆教育相談

岡崎市では、不登校・特別支援教育・就学にかかわる相談は、「そよかぜ相談」として教育相談センターで行っている。そして、この相談活動と学校からの依頼をもとに、「適応指導教室―ハートピア

岡崎―」への通所、登校支援員による支援、学校との連携等を通しての支援など、その方法を検討し、進めていく。

●そよかぜ相談

不登校・特別支援教育・就学にかかわる相談。相談員、臨床心理士、登校支援員・ハートピア指導員が行う。電話での申し込みのあと相談を行う。

●ハートピア岡崎

ハートピア指導員が、不登校児童生徒の適応指導、学校復帰支援を中心に活動する。適応指導、学習指導、相談

(保護者・本人・教員)、通所生在籍校訪問での学校復帰支援、通所生の家庭訪問等での引きこもり対策を行う。登校支援員と連携して活動する。

●登校支援員

そよかぜ相談のうち、主に不登校児童生徒、その保護者、教員を対象とし、相談活動を行う。相談センターにおける相談、必要と認められた場合の学校での相談及び適応指導、派遣先学校での該当児童生徒に対する家庭訪問による登校支援等を行う。

●相談センター住所・連絡先

岡崎市奄美北一丁目六番地一
電話七一一三三二〇一

●少年自然の家だより

○ネイチャークラフト

少年自然の家は豊かな自然があふれている。自生する木の幹や小枝、木の実などを拾い集め、それらを素材に小動物の工芸品(クラフト)作りを楽しむことができる。小動物のクラフトは、トンボ、チョウ、カブトムシ、クワガタ、ウサギ、ウマなど子供たちにとって身近でイメージしやすいものがよい。いかに素材を活かした小動物細工に仕上げることができるかがポイントである。

秋にクラフト作りをする場合は、事前の夏休みや休日を利用して少年自然の家で小枝や幹、木の実などを集めることを勧める。この際、生の木よりも枯れた木のほうが加工しやすい。またいろいろな太さの枝を集めたほうがよい。ヤマザクラ、サカキなどが候補となる。案外、細い枝は使い勝手がよい。

次に制作する小動物をイメージして、小枝や幹を薄く輪切りにしたり、切断したり、

さまざまな径の輪切りの小片に加工しておく。

利用日当日は、所内の創作棟でノコギリ、カッター、ハサミ、接着剤、水性や油性ペンなどを使って制作する。目玉はポイントになるので大切に扱いたい。目玉は市販のプラスチック製(意外に安価)を使ったり、シールを貼ったり、手描きしたりすると一段と見栄えがする。時間があれば作品の表面をアクリル塗装する。できあがった作品は幹を切った台座に載せれば記念作品の完成となる。

ネイチャークラフトは、刃物などの道具を使い、一つの作品を制作する過程を通して、日常生活の基礎となる技術を学習することができる。また、自然物を素材にして創作する楽しさを感じる機会となる。

ネイチャークラフトは、刃物などの道具を使い、一つの作品を制作する過程を通して、日常生活の基礎となる技術を学習することができる。また、自然物を素材にして創作する楽しさを感じる機会となる。





● 第五十五回岡崎市中学校
総合体育大会の記録

協力賞（PTA日本一）
常磐東小学校

◆ 全日本学校関係環境緑化コ
ンクール

優勝 東海中三年 堀口理沙

リカーブ部門女子

◆ 愛知県中学生シングルフ
アチエリー大会

三位 東海中二年 根木有彩

18・18メートル部門女子

二位 東海中三年 加藤優一

30・30メートル部門男子

優勝 東海中三年 野村翼

50・30メートル部門女子

優勝 東海中三年 堀口理沙

◆ 第14回中日本中学生アーチ
エリート大会

優勝 東海中三年 堀口理沙

● 表彰

● 種目別競技

種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	南	六ツ美	美川
	女	六ツ美	甲山	南
バスケットボール	男	城北	六ツ美北	矢作北
	女	北	甲山	岩津
バレーボール	男	矢作	竜海	六ツ美北
	女	六ツ美北	六ツ美	竜海
ソフトテニス	男	矢作	常磐	南
	女	城北	北	甲山
卓球	男	額田	六ツ美	六ツ美北
	女	北	矢作北	額田
新体操	男	南	東海	北
	女	矢作北	矢作北	東海
剣道	男	竜南	葵	六ツ美
	女	美川	六ツ美北	北
軟式野球	男	六ツ美北	竜海	美川
	女	葵	矢作	城北
ソフトボール	男	矢作北	竜南	城北
	女	竜南	矢作北	甲山
柔道	男	南	竜南	福岡
	女	矢作	矢作北	東海
サッカー	男	南	竜南	福岡
	女	矢作	矢作北	東海
水泳	男	南	竜南	福岡
	女	矢作	矢作北	東海

● 水泳競技（個人・1位のみ）

性	種目	氏名	校名	記録
男	50m自由形	堀越幹人	岩津	26"98
	100m自由形	野本琢峰	六美北	1'00"37
	200m自由形	岩本直也	矢作北	2'15"54
	50m背泳ぎ	細井雄介	矢作	★30"55
	100m背泳ぎ	山本和弥	南	1'08"24
	50m平泳ぎ	細川豪太	矢作北	34"91
	100m平泳ぎ	山内颯馬	城北	1'11"72
	50mバタフライ	近藤史都	甲山	30"87
	100mバタフライ	新出拓柱	矢作	1'02"08
	200m個人メドレー	瀬川翼	北	2'32"06
	400mメドレーリレー	細井・土屋・新出・今村	矢作	4'26"72
	400mリレー	竹中・小嶋・中村・堀越	岩津	4'09"16
女	50m自由形	杉町侑香	北	30"29
	100m自由形	千明帆風	城北	1'04"25
	200m自由形	野澤瑠莉	矢作北	2'28"87
	50m背泳ぎ	荒井裕巳	城北	32"67
	100m背泳ぎ	中嶋里実	矢作北	★1'08"36
	50m平泳ぎ	近藤愛	岩津	38"54
	100m平泳ぎ	佐々木梨湖	岩津	★1'17"59
	50mバタフライ	中根詩歩子	北	33"67
	100mバタフライ	平岩桃夏	竜南	★1'05"29
	200m個人メドレー	松居智咲	南	2'54"43
	400mメドレーリレー	菅田・余合・中嶋・野澤	矢作北	4'57"01
	400mリレー	千明・荒井・柴田・富岡	城北	4'25"67

● 陸上競技（個人・1位のみ）

性	種目	氏名	校名	記録
男	1年100m	清野雄樹	葵	12"8
	100m	黒木省悟	矢作	11"3
	200m	村岡和弥	六ツ美	24"2
	400m	山田皓史	六美北	54"2
	800m	稲葉康太	葵	2'06"2
	1年1500m	横島啓介	福岡	4'49"7
	2年1500m	片上慎之介	城北	4'34"3
	3000m	松井和也	城北	9'30"7
	110mH	鈴木康隆	甲山	15"9
	400mR	加藤② 村岡③ 鳥居③ 石原③	六ツ美	46"7
	低400mR	松本② 和田① 濱田① 駒宮②	福岡	51"3
	走り幅跳び	永尾直哉	岩津	6m15
走り高跳び	近藤雅哉	美川	1m75	
砲丸投げ	大浦優汰	六ツ美	10m65	
棒高跳び	前畑達哉	南	3m20	
女	1年100m	大原芽依	矢作	14"5
	100m	村越優里奈	六美北	13"1
	200m	神手菜々子	六ツ美	27"1
	1年800m	原田杏南	甲山	2'36"0
	800m	柴田有彩	竜海	2'28"7
	1500m	中根千明	矢作	★4'48"4
	100mH	黒柳佑衣	甲山	15"1
	400mR	白井③ 神手③ 本田② 山崎③	六ツ美	52"9
	低400mR	松本② 柴原① 草次① 武山②	岩津	55"6
	走り幅跳び	近藤佑香	竜海	4m97
	走り高跳び	稲垣碧	福岡	1m50
	砲丸投げ	中内真悠	竜海	10m43

● 柔道競技（個人・1位のみ）

種目	性	階級・部門	氏名	校名
柔道	男子	軽量級	原田崇裕	矢作
		軽中量級	井尻和範	矢作
		中量級	磯村太一	岩津
	女子	重量級	林隆太	矢作北
		軽量級	斉藤千佳	六美北
		軽中量級	馬淵菜奈	矢作北
		中量級	山田葵	矢作

★大会新記録 ☆市最高記録

・カ
ツ
ト
北野小 田中瑞花

兎 狩 り (昭和31年)

写真提供：東海中学校



写真は、農作物への被害を減らそうと、池金町で兎狩りをしたときの様子である。生徒たちが手に持つ棒で「ワツシヨイ」「ドロー」などの掛け声をかけて兎を追い、全校で十羽ほどが捕獲されたと記録に残っている。当時、かなり多くの兎が田畑に出没していたことをうかがわせる。ただ、兎狩りは恒例行事にはならず、その後は遠足のついでに実施していたそうである。

近年、岡崎市内の山間の地域では、「獣害」が問題になっている。イノシシなどを捕獲したり、防護柵を設置したりする対策を講じているが、市の統計では、平成二十一年度の被害額が四二〇〇万円に上ったと推定されている。

自然と向き合い、野生動物といかに共存するかは、昔も今も変わらない課題である。

この本を

- *自分を育てるのは自分 東井 義雄 ￥1,200
致知出版社
- *この子らと生きて 近藤 原理 ￥2,800
日本図書センター
- *ものの聲ひとの聲 水上 勉 ￥760
小学館
- *先生が元気の出る話 坂本 光男 ￥1,250
民衆社
- *野村ボヤキ語録 野村 克也 ￥724
角川書店

「野村再生工場」のボヤキの極意に迫った本書である。野村監督のボヤキは、単なるボヤキとは違う。選手一人一人の個性を見抜いて、的確なアドバイスを与えている。「指導の第一歩はやる気を引き出すこと」「人間の成長なくして技術的進歩なし」と説く野村監督。具体的事例を随所に織り込んだボヤキ語録である。人間的成長を成し遂げていきたいと感じさせられた一冊である。

形埜小 荻野 嘉美

オーディションはせずに、百二十人の部員から、五十五人のコンクールメンバーを決める。日ごろの姿を見ているから、実力は全て把握している。「誰^だでもできることを、誰にもできないくらい続ける人がすごいのだ」と聞いたことがある。全国への道は着実な積み重ねから開かれると感じた。

シ オ ス ア

小学校で英語のDVDを視聴するようになって四年になる。中学校の英語の授業で、生徒が発音に敏感になったという。英語を聞く力を付けることで、話す力、積極的に学ぶ姿勢を育てている。英語で伝え合う楽しさを存分に味わわせ、「英語が話せるおかぎっ子」の素地を養っていききたい。

「あの時もう少しできたと、後悔したくない」そんな言葉を日記に記しながら、日々の練習を積み上げてきた子供たちがいる。

夏の大会が幕を開ける。それぞれが、それぞれの思いを胸にこれまでの努力を披露する。最上級生にとつては最後の大舞台となる。完全燃焼してほしいと心から願う。

過ごしやすい季節は過ぎ去り、猛暑の夏が近づいてきた。しかし、今年は例年以上に節電に努めなければならぬ。吹き出る汗を我慢して、じっと自然の風を待つ。

ところが、この風が思った以上に心地よい。我々の生活を脅かす自然の脅威を知る一方で、自然の優しさを感じる夏にしたいためである。